



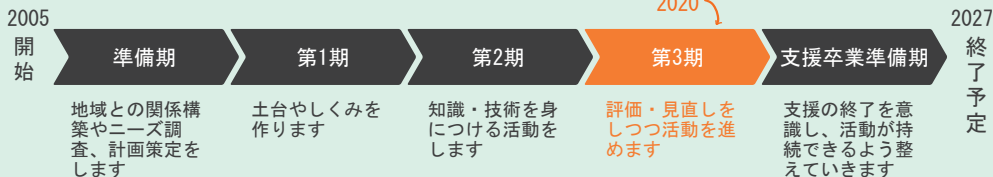
2020年 プログラム近況報告 ケニア イララマタク地域開発プログラム

地域を代表し、皆さまに感謝いたします

いつも温かいご支援をありがとうございます。今年最大の成果は、イララマタク地域で初めて中等教育学校を設立したことです。その結果、多くの子どもたちが進学するようになりました。また、弱い立場に置かれた子どもたちが、学校に通い続けられるよう、支援を届けることができました。

今後最大の課題は、児童婚と有害な文化的慣習です。皆さまのご支援により、子どもたちに悪影響をおよぼす慣習を変え、すべての子どもたちにとってより安全な環境を作ることができます。継続的なご支援に心から感謝いたします。

アルフレッド・オトゥンゴ
イララマタク地域開発プログラム マネージャー



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

イララマタク地域開発プログラムは2021年9月終了予定でしたが、当初の想定以上に奥地に広がる本地域のニーズはまだまだ大きいことがわかりました。さらなる教育・保健サービスの強化と水衛生の整備、子どもたちの栄養改善に取り組むため、2027年9月まで支援を延長することとなりました。これにより、多くの子どもたちが健やかに成長することができるようになります。

ご支援により、イララマタク地域の子どもたちがよりよい環境で育つことができます



103人

の子どもたちが、新たに開設された2つの就学前教育センターに入学することができました。



2,361人

の子どもたちが、学校との連携により、子どもの保護について相談できるようになり、助言も得られるようになりました。



386人

の若者が、有害な文化的慣習や男女の役割を学び、こうした問題について両親と話し合えるようになりました。



932人

の若者が、子どもに対する暴力をなくすため、子どもの権利と責任、そして虐待を報告する方法を学びました。



「以前は、木の下で石に座って子どもたちに教えていました。今では、机とイスがそろった教室で授業を行うことができます。子どもたちも学校に通うようになりました」

ジョセフィーヌさん、先生



学校菜園の作物で給食を提供したところ、 子どもたちが学校に戻ってきました！

「お母さんは、病気で入院を繰り返しています。私は、幼い兄弟の世話をしているお父さんを手伝っていたため、2018年から学校に通えていませんでした」と、14歳のナイシアエちゃんと言います。家が貧しく、食事も十分でなかったナイシアエちゃんは、家計を支えるために勉強をあきらめざるを得なかったのです。

支援により地元の学校は、生徒たちの給食のために学校菜園を始めました。また、中途退学した子どもたちにも給食のことを伝え、学校にまた来るように促したところ、状況が変わりました。「私は学校に再入学でき、兄弟たちと学校に通っています。また、学校では昼食の心配をしなくて良いので安心です。勉強を頑張って、家族を支えられるようになりたいです」と、ナイシアエちゃんは話してくれました。

ご支援いただきありがとうございます。

貧困の原因を根本から解決することで生きることが
困難な2億人以上の子どもたちの生活が改善しました
(ワールド・ビジョン全体での数字です)

「ご支援により、学校の環境が良くなり、勉強に集中できるようになりました。今では、読み書きも算数も安心して学べるようになりました！」

- ソモイナちゃん、14歳


ケニア イララマタク地域開発プログラム 2019年度(2018年10月1日～2019年9月30日)


会計報告

プログラム支援額	(単位：円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	40,691,920
前期からの繰越額	217,643
プログラム支援額合計	40,909,563

プログラム支出額	
教育プロジェクト	15,352,614
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	24,341,402
プログラム支出額合計	39,694,016
次期繰越額	1,215,547

活動内容


 教育プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学前教育、初等・中等教育の学習環境の整備 ・ 教師への教授法などに関する研修 ・ 保護者への就学前教育の重要性の啓発 ・ コミュニティにおける子どもの保護の組織強化およびパートナーとの連携強化

 スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流 ・ チャイルドの定期的なモニタリング ・ 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動 ・ 子どもたちへのライフ・スキル*研修 ・ 子どもへの保護に関する通報システムや管理体制の強化

*問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術

お問い合わせ先

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

 TEL: 03-5334-5351

 Eメール: dservice@worldvision.or.jp ホームページ: www.worldvision.jp

プログラム番号: KEN-182381